



結婚・出産・子育てを切れ目なく応援

子どもを生み育てやすい地域社会の実現に向けて、宮城県は乳幼児医療費の就学前までの拡大や第3子以降を対象とした小学校入学時の祝い金などの支給、子育て家庭向けの優遇融資制度など、さまざまな支援策の充実に取り組みしてきました。今回は、9月から開始したみやぎ結婚支援センターなど、結婚から子育てまで、県の取り組みの一部を紹介いたします。

AIが縁結びをサポート

みやぎ結婚支援センター
結婚を希望する方に出会いの場を提供するため、新たにAI(人工知能)を活用したマッチングシステムを導入したみやぎ結婚支援センター(愛称・みやまり)を9月、仙台市青葉区中央丁に開設しました。

システムの活用で、入会申し込み、お相手検索、お見合いの申し込み、交際意思確認など、一連の活動が会員自らのスマートフォンでできるようになりました。また、価値観診断結果に基づき、AIがお相手を自動紹介することも可能です。

オンラインによる婚活イベントや各圏域での移動結婚相談所、会員登録料も開催しますので、関心がある方はぜひお気軽にセンターのサイト(QR)をご覧ください。



みやぎ結婚支援センター
お相手検索、お見合いの申し込み、交際意思確認など、一連の活動が会員自らのスマートフォンでできるようになりました。

妊娠・出産の不安解消

不妊・不育症の相談

不妊・不育専門相談センター(青葉区・東北大病院内)では、不妊・不育に悩む方々に対して、専門の相談員が検査や治療法などについての情報提供を行っています。予約の上、面談もできます。連絡先は022-220-5555(水曜午前9時~10時、木曜午後3時~5時、いずれも年末年始を除く)。

妊娠・出産、育児に対して不安や悩みを抱える妊婦の方々が安心して妊娠生活を送り、出産、育児に臨めるよう、助産師による電話相談窓口を開設しています。連絡先は02-1000-2222(月・水・金曜午後1時~7時、いずれも祝日、年末年始を除く)。

助産師による電話相談

始、祝日を除く。

職場女性が働きやすく



2021~2022 宮城県認証企業

認証や表彰制度整備



誰かが働きやすい職場づくりを進める企業を応援するため、県では「女性のチカラを活かす企業」などで認証するサイト(QR)などを紹介しているほか、特に優れた取り組みをしている企業を毎年表彰しています。

買い物や外出 お得に

子育て支援パスポート

18歳以下の子育て家庭が協賛店舗で「子育て支援パスポート」を提示すると、お得なサービスや外出サポートが受けられます。利用登録や店舗検索はサイト(QR)上で簡単にできますので、ぜひご利用ください。子育て家庭を応援する協賛店舗も随時募集しています。



FJ東北のメンバー。現在はオンライン中心の活動に取り組む。2019年

タメニー株式会社 実績生かし行政と連携

みやぎ結婚支援センター(愛称・みやまり)の運営を宮城県から請け負うのが、結婚支援事業を手掛けるタメニー(東京)だ。全国で結婚相談所を2万6000人を超える実績を持つほか、ここ数年は独自開発した婚活支援システムの構築などにより、地方自治体を取り組む婚活事業への支援にも力を注いでいる。

福島や秋田など6県で導入実績があるタメニーのAI(人工知能)マッチングシステムは、これまでの婚活事業で蓄積した交際や成婚の組み合わせデータと、1つ1つの項目のテストで測定する「自分が重視する価値観」「相手に求める価値観」の結果から、相性のよさそうな人をAIが選出し、自動で紹介する点が他にはない特徴。先行して導入した自治体では、お見合いから交際に発展する割合が上がるなど効果も見られている。

独自システムを活用し、センターでの相談支援業務にトータルで



みやぎ結婚支援センターの相談用PCシステムの利用方法などが気軽に確認できる。

ファザーリング・ジャパン東北 働くパパ笑顔にしたい

父親の家事育児参加を支援するNPO法人ファザーリング・ジャパン(FJ)東北(仙台市)は、2016年に設立され、会員は東北6県に約40人。新型コロナウイルス感染症拡大前に読み聞かせの会「パパ絵本ライブ」や手料理教室を手掛け、現在はオンラインの交流を続けている。

FJ東北の活動目標を「笑っている父親を増やす」と表現するのは、竹下小百合代表理事(43)。猛烈に働いて家族を支えるのは昭和の父親像。父親が子育てを楽しまなかったら、もったいないと思いを語る。

育児に積極的に取り組む男性「イクメン」が流行語として脚光を浴びたのは10年。厚生労働省の調査によると、同年に1.4%だった男性の育児休業取得率は年々上昇し、20年度には初めて10%を超え、12.7%に達した。とはいえ、女性の取得率81.6%と比べれば、父親の育児参加は、まだまだ途上にある。

FJ東北は17年、部下が家庭と仕事を両立できるように応援する上司「イクボス」の育成に取り組む「みやぎイクボス同盟」を設立。「日本で一番働きやすくなる街、みやぎ」を目指す趣旨に賛同した76の企業や団体が加盟する。

先頃あったオンライン勉強会では、ある技術系企業で初めて男性が育児を取り、同僚女性が「わが社もついに新時代に入った」とエールを送った逸話が紹介された。育児推進が、社員の帰属意識や愛社精神を刺激する時代を迎えている。

育児休業法が改正され、企業などの従業員が本人または配偶者の妊娠出産を申し出た場合、雇い主側は育児休業制度の仕組みを説明し、取得意思を確認することが22年4月から義務化される。自ら手を挙げる現行制度に比べ、心理的ハードルが下がると期待される。

竹下さんは「中小企業は代替勤務者の確保が難しいなど、課題もある。しかし、会社や地域が子育てをしやすくしていくことは、地域の活力維持のためにも重要な」と力を込める。

県からののお知らせ

- 宮城県民間非営利活動促進委員会委員を募集します**
民間非営利活動の促進に関する基本的な事項の調査、審議を行う「宮城県民間非営利活動促進委員会」の委員(若干名)を募集します。県内在住または在学(20歳以上)の方で、県内のNPOでの活動経験がある方または活動に関心のある方のご応募をお待ちしています。
●応募期間/10月25日(月)まで
●任期/12月1日から2年間
●共同参加社会推進課 ☎022(211)2576
- 暴力団問題等無料出張相談**
仙台弁護士会や宮城県暴力団退避推進センターとの連携により、「暴力団問題に関する困りごと」への出張相談所を開設します。相談無料、秘密厳守、予約不要です。安心してご相談ください。
●日時/場所/①10月21日(木)午後1時~4時・ホワイトキューブ(白石市文化体育活動センター)1階会議室②11月17日(水)午後1時~4時・リノス(利府町文化交流センター)2階スタジオ
●警察本部暴力団対策課 ☎022(221)7171(代表)
- 都市計画変更の説明会**
●内容/仙塩広域都市計画の区域区分および下水道の変更
●日時/場所/①10月13日(水)・利府町役場2階第1,2および3会議室②10月15日(金)・まほろばホール1階大会議室(大和町) (いずれも午後7時から)
●下水道の変更については、①の日時・場所において説明します。
●都市計画課 ☎022(211)3134 FAX022(211)3295
- みやぎ食の安全安心取組宣言者募集**
●内容/衛生管理、適正表示、記録などに自主基準を定めて取り組んでいることを「むすび丸ロゴマーク」店頭掲示などでPR
●対象/県内の食品関連事業者・生産者
●申し込み/申請書を、郵送、ファクシミリまたはEメールで下記へ(申請書は下記で配布、またはホームページからダウンロード)
●食と暮らしの安全推進課 ☎980-8570(所在地記載不要) ☎022(211)2643 FAX022(211)2698 Eメール syokua@pref.miyagi.lg.jp
- 夕暮れ時の交通事故防止運動の実施**
日没が早まる時期は、発見の遅れなどが要因となる交通事故が多発する傾向にあります。早めのライト点灯や、反射材を活用して事故防止に努めましょう。
●期間/10月1日~令和4年1月31日
●運動の重点/①早めのライト点灯・ハイビームライトの活用推進②反射材やLEDライトの活用徹底③高齢者の交通事故防止
●地域交通政策課 ☎022(211)2438
- 宮城県技能労働者採用選考考査**
●職種/農場業務
●考査日/12月16日(木)または17日(金)
●申込期限/11月19日(金)(閉印有効)
●採用予定日/令和4年4月以降
受考資格・採用予定者数など詳しくはホームページをご覧ください。
●人事課 ☎022(211)2227
- 新型コロナウイルス対応生活応援緊急融資制度**
東北労働金庫と提携し、中小企業に勤務している方を対象とした緊急融資制度を実施しています。
●融資金額/最高50万円
●融資金利/年1.0%の固定金利
●融資期間/最長5年間(1年間の設置期間を含む)
保証料は東北労働金庫が負担するため、担保は不要です。詳しくは東北労働金庫ホームページをご覧ください。
●東北労働金庫お客様サービスセンターまたは各営業店
●雇用対策課 ☎022(211)2771
- 魅力発信動画サイト「みやぎ12人の侍(サブライズ)」公開中**
県は、全国に宮城のファンをつくることを目指して、特設サイトを公開しました。宮城にゆかりのある12人が、動画やオンラインイベントなどを通じて、さまざまな角度から「驚き」や「感動」のある宮城の新たな魅力を発信していきます。ぜひ、広報課ホームページよりご覧ください。
●出演者/①荒川静香さん(プロフィギュアスケーター)②田山圭子さん(ほやほや学会会長)③黒森洋司さん(オーナージェフ)
第4弾以降の動画は順次公開予定です。詳しくは、「みやぎ12人のサブライズ」で検索してください。
●広報課 ☎022(211)2283
- 民生委員・児童委員になれますか?**
民生委員・児童委員は、住民の相談のつたり、高齢者宅への訪問や子どもたちの見守りを行うつたりするなど、地域福祉の推進役としてさまざまな福祉活動を行っています。近年は、東日本大震災で被害の大きかった沿岸部などを中心に「なり手不足」の問題が起きています。地域福祉の推進に欠かせない活動に興味のある方は、各市町村の福祉担当窓口にお問い合わせください。
(民生委員について)
●社会福祉課 ☎022(211)2516
(児童委員について)
●子育て社会推進課 ☎022(211)2528
- 市民向けみみサポセミナー教えて!聞かえないってどんなこと?**
聴覚障害の基礎知識や会話のコツ、手話の挨拶を学びます。興味のある方ならどなたでも参加できます(参加無料)。
●日時/①夜の部10月29日(金)午後6時30分~8時30分②昼の部10月30日(土)午前10時~正午
●場所/宮城県聴覚障害者情報センター
●定員/各回15人(先着順)
●申し込み/申込書または必要事項を電話、ファクシミリ、Eメールにより下記へ(申込書は下記まで請求またはホームページからダウンロード)
●宮城県聴覚障害者情報センター ☎022(393)5501 FAX022(393)5502 Eメール info@mimisuppo-miyagi.org

2021認知症介護オンラインセミナー

- 内容/[第1部]研究報告3本、[第2部]特別講演「父と娘の認知症日記」他1題、リレー講演3題(視聴無料)
- 期間/10月18日(月)~12月30日(木)
- 配信場所/認知症介護情報ネットワーク
- 申込方法/メールの件名に「セミナー申し込み」と入力の上、空メールを下記アドレスへ
●認知症介護研究・研修仙台センター ☎022(303)7550 Eメール kaigo2021@dcnet.gr.jp ●長寿社会政策課 ☎022(211)2552

みやぎの3R推進キャンペーン

10月は推進月間です

県は、循環型社会形成推進計画(第3期)に基づき、県民の皆さんに3Rを実践していただくための取り組みを実施しています。

3R

- へらす [リデュース] ごみを減らそう
- つかう [リユース] ものを最後まで大切に繰り返し使おう
- もどす [リサイクル] ごみを分別して資源に戻そう

ラジオCM放送中 3R推進月間にFM仙台、東北放送で放送中
※ホームページでも聴くことができます

10月30日はみやぎ県民食べきりの日!

10月は食品ロス削減推進月間にもなっています
おいしく楽しく食べきろう!

●みやぎの食べきりモデル店舗を募集しています
県は、食べ残しを減らそうと取り組む県内の飲食店や宿泊施設を「みやぎの食べきりモデル店舗(モデル店)」として認定し応援する「みやぎの食べきりモデル店舗認定事業」を実施しています。

●家でできる食品ロス削減
●お買い物のとき
お買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認するなど、食べられない食材を買いすぎないようにしましょう。すぐ食べる食品は、賞味期限や消費期限の長い商品を選択せず、陳列順に購入しましょう。
●食べきれないとき
買ってしまった食べ残しや、商品が余ってしまった場合は、フードドライブなどの寄付やお断りをお願いします。

●お問い合わせ/宮城県子育て社会推進課 ☎022(211)2649 Eメール junkanr@pref.miyagi.lg.jp

みやぎの3R推進キャンペーン

10月は推進月間です

県は、循環型社会形成推進計画(第3期)に基づき、県民の皆さんに3Rを実践していただくための取り組みを実施しています。

3R

- へらす [リデュース] ごみを減らそう
- つかう [リユース] ものを最後まで大切に繰り返し使おう
- もどす [リサイクル] ごみを分別して資源に戻そう

ラジオCM放送中 3R推進月間にFM仙台、東北放送で放送中
※ホームページでも聴くことができます

10月30日はみやぎ県民食べきりの日!

10月は食品ロス削減推進月間にもなっています
おいしく楽しく食べきろう!

●みやぎの食べきりモデル店舗を募集しています
県は、食べ残しを減らそうと取り組む県内の飲食店や宿泊施設を「みやぎの食べきりモデル店舗(モデル店)」として認定し応援する「みやぎの食べきりモデル店舗認定事業」を実施しています。

●家でできる食品ロス削減
●お買い物のとき
お買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認するなど、食べられない食材を買いすぎないようにしましょう。すぐ食べる食品は、賞味期限や消費期限の長い商品を選択せず、陳列順に購入しましょう。
●食べきれないとき
買ってしまった食べ残しや、商品が余ってしまった場合は、フードドライブなどの寄付やお断りをお願いします。

●お問い合わせ/宮城県子育て社会推進課 ☎022(211)2649 Eメール junkanr@pref.miyagi.lg.jp